

講義名	教養特講 (マーケティング学科へのいざない)			授業形態	
担当教員	秦 洋二 / 新 雅史 / 梶田 真生 / 後藤 志仁 / 白 貴士 / 三浦 玉緒 / 飯野 祥太 / 綿貫 真也	開講期・曜日・時限	前期 月曜日 5 時限		
	単位数	2	履修開始年次	1 年生	ナンバリング・コード FVE110

主題と概要

本講義ではマーケティング学科の学生が、これからの4年間の大学生活でどのようなことが学べるのか、その概要を説明します。マーケティング学科は大きく流通ビジネスコースとブランド戦略コースに分かれており、各コースの教員は、それぞれがさらに細分化された専門領域をもって授業を行います。本講義では、各教員の専門テーマを初學者にもわかりやすく解説し、2年次以降、さらに深くマーケティングを学ぶ際の手がかりを提供します。

到達目標

- ・マーケティング学科の学びの特徴を理解できる。
- ・マーケティングを研究する楽しみ、意義を理解できる。

提出課題

マーケティング学科へのいざないは初年次科目のため、規定により期末試験が実施できません。そのため今年度成績評価方法は前年を踏襲し、授業中の小テストによって行いたいと考えています。

課題 (レポートや小テスト等) に対するフィードバックの方法

- ・小テストはキャンパス クロスのテスト機能を用いて作成する。配点は、毎回8点 (2点×4問) ×13回 = 104点 (4点分はボーナス部分)

評価の基準

毎回の小テスト 100%

履修にあたっての注意・助言他

この授業では、学生自身が興味のある分野を発見することを目指しています。身の回りの様々な事象に興味を持ち、マーケティング的思考ができるようになってください。

教科書

.使用しない。

参考図書

その他

講義連絡を通じて資料を配付します。
参考文献は各自の担当者が適宜指示します。

授業計画

1	4/8	解題・ガイダンス：秦
2	4/15	道の駅と商品開発：後藤
3	4/22	マーケティング定義の変遷：白
4	4/29	ブランド：後藤
5	5/13	消費者行動：飯野
6	5/20	サービスマーケティング：三浦
7	5/27	面白い物とショッピングはどうか異なるか：新
8	6/3	国際経営とは：三浦
9	6/10	ロジスティクス：田中
10	6/17	商業とまちづくり：長坂
11	6/24	マーケティング・コミュニケーション：飯野
12	7/1	マーケティングとAI・ビッグデータ：綿貫
13	7/8	オムニチャネルとインターネット通販：梶田
14	7/15	流通・マーケティングの最近の動向：秦
15	7/22	

授業形態 (アクティブ・ラーニング)

ア：PBL (課題解決型学習)	イ：反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他 (A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：各回のテーマに沿った資料の収集 (3時間)
復習：「授業で新たに学んだこと」の整理と関連文献の渉猟 (3時間)
特に復習に力を入れてください。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本講義の到達目標は、本学ディプロマポリシー「マーケティング動向、流通業界及び関連業界の動向や問題点を理解するための基礎知識を身につけ、これをもとに、マーケティング、ブランド戦略、小売業界、流通に関する問題探索、課題提案ができる」に関連する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義内容に関する質問は、当該回の担当教員までお願いします。

実務経験の有無及び活用

備考

諸事情により講義順等が変更になることがあります。その場合は講義中に指示します。